

# 今にのこる昔とくらしのうつりかわり

< 小学校中学年 >

- 目的
- 昔の人が利用していた道具によって、当時のくらしの様子や知恵に気づくことができる。
  - 地域のお年寄りの子どもの頃のがんばりや、子どもへの願いを知り、自分たちの生活を見つめることができる。
  - 父母や地域の人々のまちづくりのための努力や願いを知り、「ステキなまち」にするための意欲を高めるとともに住んでいるまちに愛着をもつ。

## 気づく

### 道具から昔の人の「すごい」を見つけよう

- ・学校にのこる昔
- ・展示館にのこる昔
- ・家庭にのこる昔

道具の中には昔の人の知恵や工夫が詰まっていることに気づく。

学校にのこる写真や道具を見る。展示館や学校にある昔の道具を見たり、ふれたりする。活動を通して、人々のくらしの移り変わりを調べる計画を立てる。

## 広げる深める 1

### 地域のお年寄りの「すごい」を見つけよう

遊びにおいても、知恵や工夫が詰まったものであることに気づき、自分たちで遊びを創り出してきたお年寄りたちのたくましさを感じる。人との温かなかわりを大切にしていたことを知る。

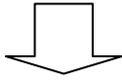
地域のお年寄りの話をききとる。昔の遊び体験

## 広げる深める 2

### ステキな をぼくらの手で作ろう

学習をふりかえる中、地域の人々の願いに気づく。地域の活動を立ち上げた地域の人々の願いを考える。(しんどいことにくじけず、生活をよくしようとかんばってきた地域の人々の姿を知る) 地域の施設を調べることで、地域の人々の願いについて目を向け、人々が安心して暮らせるまちづくりへどのように取り組んだか考える。

まちづくりをふりかえる。くらしをよくするために紙芝居 地域の施設の見学  
・地域の活動  
・施設

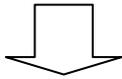


計画し、実践する

## 子どもまちづくり委員 「ステキな」大提案

これからのまちづくりに対する自分たちの願いを実現するためのアイデアをイラストや文で表すことによって、理想のまちに近づけていこうとする意欲を高める。

「ステキな」になるようなアイデアをイラストや文章で表す。発表しよう。



振り返る

## 聞きとりを再現してみよう

これまでの成果や直に聞き取ったこと、調べたことを劇にしたり、紙芝居にし、子どもたちの「文化財」にする。

紙芝居化  
劇化  
さまざまな機会  
で発表する



### 【学習を進めるにあたって】

- ・ 地域の実態や実情に配慮した取り組みになる必要がある。
- ・ 地域の人々の生き方に出会い、まちづくりへの願いや思いを知ることが大切である。
- ・ 子どもたちの提案や聞き取った事柄は、地域でのさまざまな機会に発表し、さらに子どもたちの地域への関わりや人々との関係を深めることも大切である。